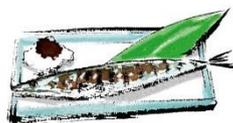


新宿公民館便り

～つどい まなび つなぐ～



令和4年度 第12号
令和4年9月12日(月)
発行 千葉市新宿公民館
住所 中央区新宿2-16-14
電話 043-243-4343

まだ暑さが残るある日の午後、蝉の鳴き声を聞いた。随分と元気をなくしていたが、がんばっていた。蝉しぐれではなく、独唱のようだ。

その日の夕方、散歩を終えて家に戻るときには、虫の声を聞いた。こちらはまだ響きは弱い。

地球規模の大規模な気候変動や異常気象に嘆きつつ、身の回りの季節の小さな移ろいを見つけることができる。それでイイのだ。

げつれいし 月鈴子 ～月から降ってきた鈴～

鈴虫の異称で、他に金鐘児、^{きんしょうじ}月鈴児ともいわれます。鈴虫と松虫が、今と逆でしたが、平安時代から親しまれてきました。



～虫の鈴むし。ひぐらし。^{てふ}蝶。松虫。…(「枕草子」)

江戸時代には、すでに飼育されたり、売られたりしていたようです。

だからこそ、子供に見立てた名前と呼ぶほど、愛着が湧いたのかもしれない。

どんな虫でもそうですが、最後の羽化を終えた直後の真っ白な姿は、この世のものとは思えないほどの美しさです。

それまで、何度も脱皮を繰り返し、やっと成虫になった瞬間。それを思うと、「リーン、リーン」と美しく鳴く声が、月から降ってきた鈴の音のように聞こえてきます。(山下景子「美人の日本語」より)

ガラス越しの面会

夏休み明けの感染者数増加が心配されていましたが、「高止まり」から、やや減少傾向であることを知らせるニュースを見ると、心の中で小さなガッツポーズ。一喜一憂の毎日です。

思い起こせば、それは、厳重な防護服を着て豪華客船に検疫のために職員が乗り込むニュースから始まりました。有名芸能人の感染による死去、骨壺だけが玄関先に届けられ、その後、時間をおいてご主人が無言で引き取る痛々しい姿…。そのような事態に、世界中が怯えさせられたのです。学校での各種行事は中止、自粛が迫られ、人との対話、外出の制限も課せられました。会いたい人、会わせたい人との面会には、窓ガラス越しに対話する様子が報道されていました。

この夏、帰省した私も、その中にいました。介護

老人施設でお世話になっている母との面会は、ガラス越しの15分。携帯電話での会話です。とにかく元気な声を出そうと、矢継ぎ早に話しかけるしかありません。長崎弁は自然と染み出ます。「よかよか、なんも心配せんでよかけん」「いっちょん変わらんたい。ようご飯ば食べよるらしかね」「あした帰るけん。また来つけん、元気にしとつて」…。私の大げさな話しかけに、母の話す言葉はゆっくりとなってしまうしていますが、会話はスムーズでしっかりとしており、耳も遠くありません。窓ガラス越しではあっても、テレビ電話とは全く違います。すぐそばにいる感、があります。時間はあつという間に過ぎていきました…。

窓の向こうにいる母と、外にいる私と兄との3人で撮った写真があります。車いすの母は、幾分遠くにいるので小さく写ります。でも、画像を指で大きくすれば、母の顔を大きく見ることができます。母の優しく綺麗な顔を見ることができます。

ガラス越しの面会も解除される日が、いつか必ず来ると思っています。



別れる力

28日は私の父の月命日でした。世界には自分に似た人が3人いるようなことが言われますが、時々、遠目に父に似た人を見かけることがあります。一瞬ハツとなりますが、次の瞬間には、いるはずがないことを理解します。

好きな作家さんのエッセイの巻頭言には次のように書かれてありました。

…私が生家を離れる前夜、父が私の暮らす棟に来て、父の生い立ちから、生きることでの忠告(いやあれは命令か)を受けた。

「倒れてはならん。生きて行くんだ。この先二度とおまえとわたしは逢えないことが起きるのが生きるということだ」

まさか、と思って聞いていたが、今なら父の言わんとしたことがわかる。

人間は別れることで何かを得る生き物なのかかもしれない。別れるということには、人

間を独り立ちさせ、生きることのすぐ隣に平然と哀切、慟哭が居座っていることを知らしめる力が存在しているのかもしれない。

人は大小さまざまな別れによって力を備え、平気な顔で、明日もここに来るから、と笑って生きるものである。人間の真の姿はそういうときにあらわれる。

(伊集院静「男の流儀3 別れる力」より)

生きているといろいろな別れを経験します。Good by も、See you も、So long も、別れの挨拶。そのどれをとっても、残された自分は強くなならないとな、一人で気張らないとな、と思っています。でも、いつも平気な顔で笑うことはできませんが、ね。

STOP！電話 de 詐欺

「こちらは ちばしやくしょです。ほんじつしないで オレオレさぎの…」と、市役所からの警戒を呼び掛ける放送が頻繁に流れてきます。「こんなに注意喚起されているのに、まだ引っかかってしまう人がいるんだな」と、むなしく感じたりします。

「私に限って、そんな被害には遭わない」と思っている人(かく言う私も口車に乗せられるタイプです)が、案外危ないかもしれません。「そんな高額のお金、持っていないし…」、「そんな電話がうちにかかってくるわけがない…」などと、暢気に構えている人ほど、もしもの時はパニックになって、気づいたときには銀行のATMの前にいるかもしれません。今一度、気を引き締めておきましょう。

毎月配布されてくる交番だよりの「3ストップで電話 de 詐欺防止」を紹介します。

○家族との絆で STOP！電話 de 詐欺被害

家族とこまめに連絡を取りましょう。

○地域との絆で STOP！電話 de 詐欺被害

地域での声掛けを強化しましょう。

○防犯情報で STOP！電話 de 詐欺被害

千葉県警察の「安全・安心メール」に登録し、防犯情報をチェックしましょう。

「ちば安心・安全メール」に登録できるQRコードなど、詳しくはメールボックス棚にある、色刷りの「県警だよりの」をご覧ください。

10月は「電話 de 詐欺」被害防止強化月間だそうです。みんなで注意していきましょう。



文化祭に向けて 9/24(土)実行委員会です

定期団体の皆さんには、文化祭の参加アンケートのご協力、ありがとうございました。役員の方が取りまとめをし、発表の演目やタイムスケジュールを検討しているところです。また、前日準備や当日の運営での役割を割り振ることや、展示場所の計画を立てています。

それらの内容を決定しまして、9月24日(土)に実行委員会が開かれます。すでにご案内のように(レターケースに配布済み)、本年度実行委員の16団体の代表の方には参加いただきますようお願いいたします。

コロナ禍により2年開催されていなかったため、初めて経験する方も多くいらっしゃいます。2年前のことを思い出しながらも、今できる範囲での計画です。実行委員の方のご尽力なしではできない行事ですし、種々の連絡がありますので実行委員会への出席をお願いします。

ちょっとブレイク

これは何県？



【ヒント】

昔は、新婚旅行といえばここ。

「どげんかせんばいかん」

巨人軍春キャンプは恒例

季節の日本語

なでしこ

撫子

～撫で撫でしたいほど～

撫子の語源は、撫で撫でて、いつくしみ、かわいがる子。それほどかわいい花ということです。

確かに淡いピンクの色合い、細い茎、花びらの切れ込みがそよぐ様子など、何ともいえないかわいらしさが漂っています。

秋の七草にも数えられ、歌に詠まれる時も、恋しい女性にたとえられることが多いようです。

中国から入ってきた「唐撫子」(石竹)と区別するために、日本原産の撫子を「大和撫子」(河原撫子)といいます。

そして、日本古来の美しさを備えた女性の代名詞ともなりました。

最近、花の方の大和撫子は、唐撫子に押されて、あまり見かけなくなりましたが、女性の方はどうでしょう。(山下景子「美人の日本語」より)



天高く スカイブルーに いわし雲

・ 空気が変わる 季節が進む

